

プラナリア対策の目的

父島にわずかに残された鳥山の陸産貝類を生息域内で保全すると共に、母島や兄島におけるウズムシの侵入時に備えて緊急対応手法を確立する。

対応手法

- ・ 生息状況の把握
- ・ 個体群の拡散・侵入防止
- ・ 陸産貝類の域外保全



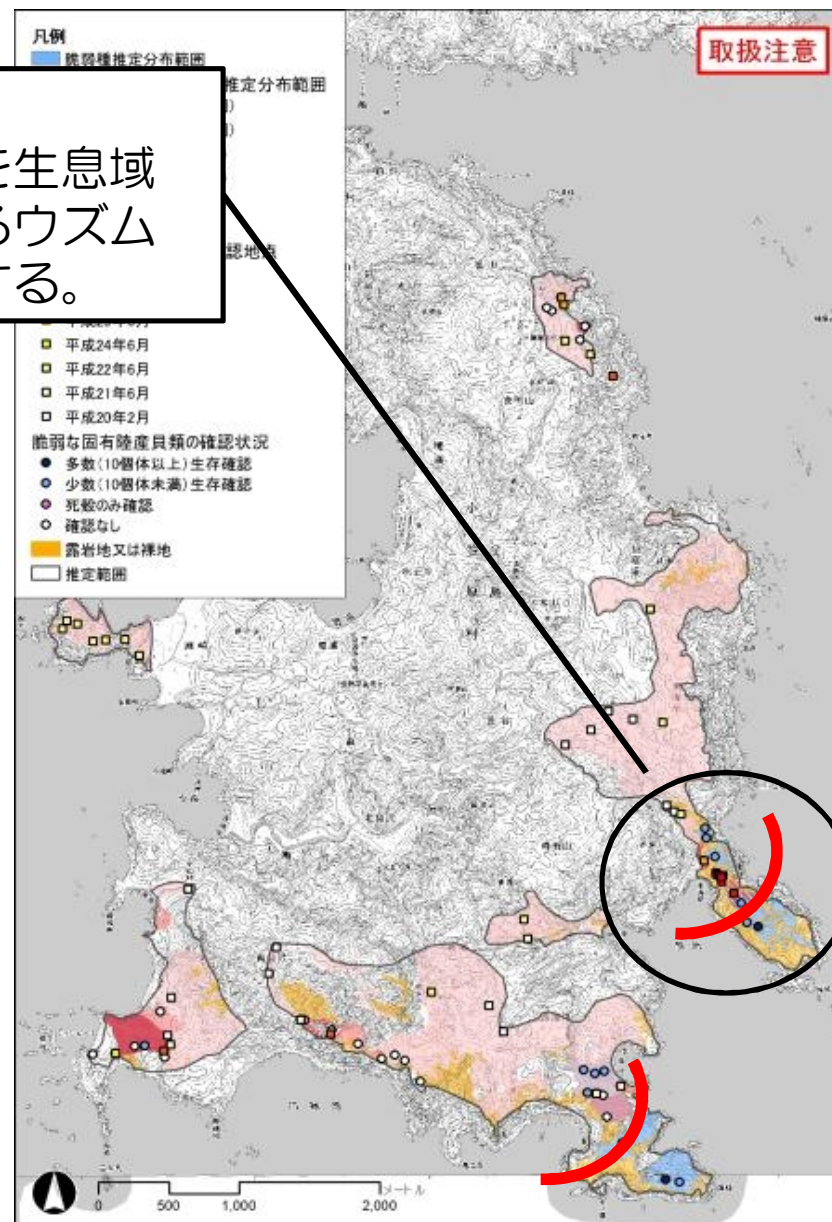
殺虫板センサー



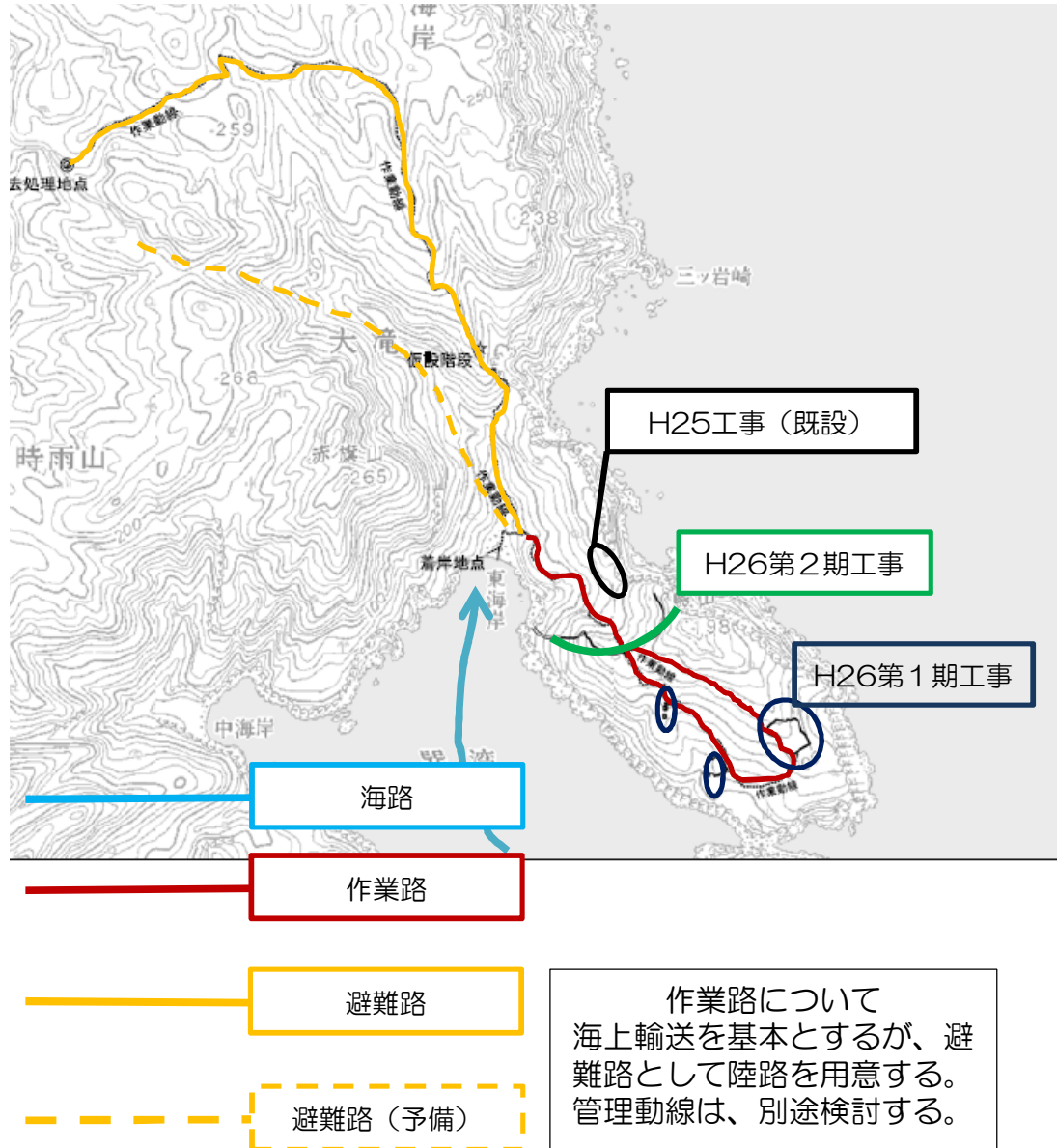
侵入防止柵



陸産貝類の域外保全



父島鳥山地域プラナリア対策～工事の概要～



【平成25年度対応】

◆ 10月22日～10月31日
侵入地周辺の裸地化

◆ 11月1日～12月8日
生息状況の把握等

◆ 12月9日～1月中旬
生息状況の把握、囲込柵の試験設置

【平成26年度対応】

◆ H26年5月
柵設置予定箇所の伐採木調査

◆ H26年6月上旬～
＜工事その1＞
囲い込み柵、エリア防除柵の設置

◆ 10月～
＜工事その2＞
侵入防止柵の設置
（侵入防止柵は、岩盤型が多くなるため、保全委員会において、環境配慮の検討が必要とされた。